

## ふるさと会への議員派遣は必要だ

菅原 恵 悦 議員



### ふるさと会への議員派遣について

**質問** ふるさと会への取り組みは、これまで市町村により違いはあるが、議員が関わった方がお互いに交流や深い信頼関係を築ける。市の発展に必要なふるさと会へは議員派遣は必要ではないか。

**答弁** ふるさと会の人達はそれぞれ郷里を一途に思ってきた人たちであり、今、直ちにふるさと会を一本化するのではなく、当分は独自の行動をするのがよいと思っている。議員派遣に関しては、今後、旧市町村の対応を見ながら、議会とも話し合って対処したい。

### 市長のトップセールスについて

**質問** 地域産品マーケティング推進事業は、市の真価を発揮できる事業だと思う。県外スーパー等への積極的なアプローチ活動をする一方、ふるさと会とこの事業を直結するなど、市長自らトップセールスを展開すべきだ。

**答弁** 米について真っ先にマーケティングを仕掛けるべきとの意見があるが、米だけでこの地域全体の農業の底上げを図ることができるとは思えない。現在、県産の農産物が数量が小さく、まとまらないので消費地で売れないという現実があるが、私たちには納得できないことだ。

マーケティングに注力することにより、必ず需要を開拓できると思うし、市の特産品が単なるおみやげ品の域を超えるよう力を尽くしていきたい。私は自ら先頭に立ち、トップセールスをしたと思う。この事業で特に心強いのは、地元が心配でたまらないという、ふるさと会の皆さんの存在である。よい関係を築いていきたい。

## 農業の構造改革について

高安 進 一 議員



### 米の付加価値を付けることについて

**質問** 地域産品マーケティング推進事業を中心に経営安定対策事業、あなたと地域の夢プラン事業など関係施策を横断的に連携し、システムを構築して農業の構造改革に取り組むべきだ。農業改革の目玉は、歴史があり販売量の多い米に、いかに付加価値を付けるかであると思うがどうか。

**答弁** 品目横断的安定対策には地域の将来を考えると、多くの農家に参加してほしい。しかし施策の効果を考えると、トータルな施策としてマーケティング事業は欠かせず、この対応にはオール横手という形で取り組んでいきたい。その中で米は

地域として何より重要な産物であり、高い優先順位の中で扱いたい。これからの農業には最初に消費を意識し、そこから生産を考えると、逆からの発想が必要と思う。

### 学校で少子化を取り上げることについて

**質問** 少子化対策の一つ、地域子育て支援事業はこれまでどのように展開されてきたのか。また、学校教育の場で人間として将来、子どもを産み育てる楽しさ、大切さをもっと取り上げる必要があるのではないか。

**答弁** 地域子育て支援事業はすべての地区で開設され、育児相談、子育てサークルへの支援、子育てサポートの養成などを行っている。今後は働くお母さん方が利用しやすい土、日の開催も考えていきたい。

学校教育の中で、少子化問題は社会科、道徳、家庭、保健体育の中で扱われている。教科の中で子供たちが色々と討論しながら、少子化とはどういうことか、感じ、考えることがまず根本だと思う。

その他の質問事項  
・横手市主導の農業改革を